

障がい者雇用優良事業所

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰

○宮崎部品株式会社（東臼杵郡門川町）

業種：電気機械器具製造業
（自動車用組電線（ワイヤーハーネス製造））
従業員：326人



矢崎グループの子会社として1989年 東臼杵郡門川町にて操業。グループの親会社である矢崎総業 創立者の「多様な人材の雇用によって 多様性のある企業文化、組織作りをし、社会的責任を果たすことが出来る企業づくり」という理念のもと、32年前に旧養護学校から重度障がい者の紹介をきっかけとし、障がい者雇用を継続・拡大している。

障がい者数については令和6年6月1日現在、身体障がい者 7名(重度の身体障がい者 2名を含む)、知的障がい者2名（重度1名）計9名が在職している。過去3年間の実雇用率は3%台を維持して（令和4年度 3.81%、令和5年度 3.37%、令和6年度 3.68%）おり、障がい者雇用が安定的に継続している。採用・配属にあたっては、延岡しろやま支援学校の4日間のインターンシップの受入や、定期的に学校や支援機関との連携、情報交換をしながら、障がい者それぞれの特性を把握し、仕事の内容に応じてスキルや理解、判断度合、会話力等の必要性を整理したうえで配属し就業後のミスマッチを防ぐようにしている。結果として障がい者数に占める勤続5年以上の割合は7割を超えている。

障がい者の業務内容は、個性や得意なことを考慮し、生産部門で自動車の部品の組立や検品業務を中心とした軽作業に従事している。主に「ワイヤーハーネス」と呼ばれる車の血管・神経系統と呼ばれる、電気や信号を伝えるための部品を、各部品ごとに「部品箱へ仕分け投入」作業や電線とコネクタとワイヤーを嵌める「電線嵌め作業」などのワイヤーハーネスの組立作業（2000個/日）などに従事している。

障がいのある従業員をバックアップする取組として、聴覚障がい者の方と、きこえる人(聴覚障がい者等以外の人)との会話を、通訳オペレータが「手話」または「文字」と「音声」を通訳することで即時双方向につなぐことが出来る「電話リレーサービス」を活用し、障がいの方が出勤時間の変更や連絡したいことなどを会社外から連絡する際に利用しており、仕事の連絡や緊急な連絡などで、会社の支援者と聴覚障がい者両方とも誤解なくスムーズにコミュニケーションがとれ、トラブル

ルも発生しにくくなった。また障がい者からの相談をスムーズに理解できるように管理部の職員が手話講座を受講したり、障がい者雇用に関する知識を日頃より深める取り組みを行っている。

南海トラフが起こった時や火災が発生した時を想定して、防災避難訓練や火災訓練時に、障がい者が実際に避難するときにはどのように避難をするのかを具体的に確認しながら、介護補助者を付けて避難訓練を実施している。

今後の展望として、さらなる障がい者の戦力化に向け、新たな職域として、ワイヤーハーネス設計部門で、車いすの方の採用を視野に入れ、物理的な諸課題の解決に向けて取り組んでいる。

このように、障がい者に優しく、雇用に前向きな優良企業である。

※H5 優良事業所表彰 県知事表彰

H14 優秀勤労者（個人）大臣表彰